

# 救命救急医療学分野

## 論文

### A 欧文

A-a

- 1 . Keita Iyama, Satoshi Ikeda, Takamitsu Inokuma, Shuntaro Sato, Shuhei Yamano, Goro Tajima, Tomohito Hirao, Yoshihiro Nozaki, Kazunori Yamashita, Hiroaki Kawano, Koji Maemura, Osamu Tasaki: How to Safely Prevent Venous Thromboembolism in Severe Trauma Patients. *International Heart Journal* 61(5): 993-998, 2020. doi: 10.1536/ihj.20-153. (IF: 1.862)
- 2 . Yasutaka Nakahori, Kentaro Shimizu, Hiroshi Ogura, Takashi Asahara, Akinori Osuka, Shuhei Yamano, Osamu Tasaki, Yasuyuki Kuwagata, Takeshi Shimazu: Impact of fecal short-chain fatty acids on prognosis in critically ill patients. *Acute Medicine & Surgery* 7(1): e558, 2020. doi: 10.1002/ams2.558.
- 3 . Terashima S, Muroya T, Ikegawa H, Kajino K, Sakuramoto K, Yui R, Kishimoto M, Takahashi H, Nakajima M, Nakamura F, Yasushi Nakamori, Kuwagata Y.: Propofol suppresses ventricular arrhythmias a case report of acute caffeine intoxication. *Acute Medicine and surgery* 7(1): e514, 2020. doi: 10.1002/ams2.514.
- 4 . Koichi Hayakawa, Kazuhisa Yoshiya, Osamu Tasaki, Hiromu Iwamura, Daiki Wada, Fukuki Saitou, Jiro Iba, Hitoshi Ikegawa, Tadahiko Shiozaki, Yasushi Nakamori, Satoshi Fujimi, Takeshi Shimazu, Yasuyuki Kuwagata: Is Intracranial Pressure Monitoring Necessary in Patients with Mild to Moderate Traumatic Brain Injury with Multiple Trauma? A Case Series. *American Journal of Emergency & Critical Care Medicine* 3(1): 25-30, 2020.
- 5 . Shinya Terashima, Koichi Hayakawa, Fukuki Saito, Daiki Wada, Hiromu Iwamura, Atsuyuki Kuro, Yujiro Ozaki, Yasushi Nakamori, Kazuyoshi Ishii, Yasuyuki Kuwagata : Hemophagocytic syndrome with severe sepsis caused by *Capnocytophaga canimorsus*. *The American Journal of Emergency Medicine* 38(7): 1540, 2020. doi: 10.1016/j.ajem.2020.03.017. (IF: 2.469)
- 6 . Yohei Okada, Takeyuki Kiguchi, Taro Irisawa, Kazuhisa Yoshiya, Tomoki Yamada, Koichi Hayakawa, Kazuo Noguchi, Tetsuro Nishimura, Takuya Ishibe, Yoshiki Yagi, Masafumi Kishimoto, Hiroshi Shintani, Yasuyuki Hayashi, Taku Sogabe, Takaya Morooka, Haruko Sakamoto, Keitaro Suzuki, Fumiko Nakamura, Norihiro Nishioka, Tasuku Matsuyama, Junya Sado, Satoshi Matsui, Takeshi Shimazu, Kaoru Koike, Takashi Kawamura, Tetsuhisa Kitamura, Taku Iwami: Association between low pH and unfavorable neurological outcome among out-of-hospital cardiac arrest patients treated by extracorporeal CPR a prospective observational cohort study in Japan. *Journal of Intensive Care* 8(53): 2020. doi: 10.1186/s40560-020-00451-6. (IF: 3.953)
- 7 . Tasuku Matsuyama, Taro Irisawa, Tomoki Yamada, Koichi Hayakawa, Kazuhisa Yoshiya, Kazuo Noguchi, Tetsuro Nishimura, Takuya Ishibe, Yoshiki Yagi, Takeyuki Kiguchi, Masafumi Kishimoto, Hiroshi Shintani, Yasuyuki Hayashi, Taku Sogabe, Takaya Morooka, Haruko Sakamoto, Keitaro Suzuki, Fumiko Nakamura, Norihiro Nishioka, Yohei Okada, Satoshi Matsui, Junya Sado, Takeshi Shimazu, Bon Ohta, Taku Iwami, Tetsuhisa Kitamura,: Impact of Low-Flow Duration on Favorable Neurological Outcomes of Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation After Out-of-Hospital Cardiac Arrest. *Circulation* 141(12): 1031-1033, 2020. doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.119.044285. (IF: 29.69)

A-e-2

- 1 . Masahiro Ojima, Norihisa Yamamoto, Tomoya Hirose, Shigeto Hamaguchi, Osamu Tasaki, Takashi Kojima, Kazunori Tomono, Hiroshi Ogura, Takeshi Shimazu : Serial change of neutrophil extracellular traps in tracheal aspirate of patients with acute respiratory distress syndrome: report of three cases. *Journal of Intensive Care* 8(25): 2020. doi: 10.1186/s40560-020-00444-5. (IF: 3.953)
- 2 . Goro Tajima, Eri Uemura, Ayako Tokunaga, Miyuki Miura, Takahiro Umehara, Kazuya Ikematsu, Osamu Tasaki: PATTERN-BASED ANALYSIS OF GENE EXPRESSION PROFILE BY CANONICAL DISCRIMINANT ANALYSIS COULD IDENTIFY THE PATHOPHYSIOLOGY REGARDLESS OF THE SEVERITY . 79th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma Program : 114, 2020. doi: 10.1097/TA.0000000000003041.
- 3 . Eri Uemura, Goro Tajima, Naoya Matsumoto, Ayako Tokunaga, Miyuki Miura, Takehiko Murase, Kazuya Ikematsu, Osamu Tasaki: The Expression of Repulsive Guidance Molecule A (RGMA) After Traumatic Brain Injury: The Time-Course Gene Expression Changes in the Murine-Controlled Cortical Impact Model . 79th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma Program : 49, 2020. doi: 10.1097/TA.0000000000003041.

### B 邦文

B-a

- 1 . 高橋 優二, 田崎 修, 山下 和範, 野崎 義宏, 平尾 朋仁, 田島 吾郎, 猪熊 孝実, 山野 修平, 宮本 俊之: 救命救急センターおよび外傷センター開設と転院搬送外傷患者の転帰に関する地域網羅的解析. *九州救急医学雑誌* 20(1): 1-6, 2020.

2. 上村恵理,水大介,有吉孝一: 当ER型救命救急センターにおける小児鼻腔異物の検討. 日本臨床救急医学会雑誌 23(2): 110-114, 2020.
3. 猪熊 孝実,足立 智彦,夏田 孔史,大野 慎一郎,井上 悠介,日高 匡章,高槻 光寿,江口 晋,田崎 修: IIIb型腓体部損傷に対して脾動静脈切除を伴った脾温存腓体尾部切除(Warshaw手術)を行った1例. Japanese Journal of Acute Care Surgery 9(2): 263-266, 2020.

#### B-b

1. 猪股 裕紀洋,佐藤 滋,福嶋 教偉,星川 康,日比 泰造,伊藤 泰平,日下 守,芦刈 淳太郎,平尾 朋仁: 臓器横断的パネルディスカッション「拡大基準ドナーに関するコンセンサス」. 移植 55(3): 197-214, 2020.

#### B-c

1. 田崎 修: 肺水腫、頭蓋内圧降下療法. 今日の治療指針: 私はこう治療している 62: 33, 120, 2020.
2. 泉野浩生: 第10章 各疾患の栄養管理 多発外傷. キーワードでわかる臨床栄養 令和版: 268-273, 2020.
3. 早川航一: 【腹を割って話そう!!ハイブリッドERシステム】ハイブリッドERシステムと外傷診療 頭部外傷への介入. 救急医学 44(5): 553-560, 2020.
4. 中森 靖,和田 大樹,早川 航一,齊藤 福樹,吉矢 和久: 【腹を割って話そう!!ハイブリッドERシステム】ハイブリッドERシステムとは ハイブリッドERシステムの歴史と概要. 救急医学 44(5): 514-518, 2020.

#### B-e-1

1. 寺嶋 慎也,田崎 修,宮本 俊之,早川 航一,山下 和範,平尾 朋仁,田島 吾郎,野崎 義宏,猪熊 孝実,土居 満: フレイルチェストに対する肋骨観血的整復固定術の有用性. 日本救急医学会雑誌 31(11): 1926, 2020.
2. 井山 慶大,猪熊 孝実,立川 温子,泉野 浩生,山野 修平,田島 吾郎,平尾 朋仁,野崎 義宏,山下 和範,田崎 修: 受傷後48時間以内に静脈血栓予防目的の抗凝固療法を行う 外傷後静脈血栓塞栓症を安全かつ効果的に予防するための提案. 日本外傷学会雑誌 34(5): 226, 2020.
3. 田崎 修: 重症患者の家族サポートに関する指針の作成に向けて. 移植 55: 234, 2020.
4. 田崎 修,佐藤 直樹: CPRを再考する アドレナリンは必要vs不要. J-ReSS 12: 10, 2020.
5. 出光 玲菜,平尾 朋仁,岡村 岳,井山 慶大,上村 恵理,山野 修平,田島 吾郎,猪熊 孝実,野崎 義宏,松本 直也,山下 和範,田崎 修: トラベルミン中毒によりQT延長をきたした1例. 中毒研究 33(1): 103, 2020.
6. 矢野 倫太郎,関野 元裕,山下 和範,長谷 敦子,原 哲也: スズメバチ刺傷による多臓器不全の1例. 中毒研究 33(1): 103, 2020.
7. 寺嶋 慎也,田崎 修,宮本 俊之,早川 航一,山下 和範,平尾 朋仁,田島 吾郎,野崎 義宏,猪熊 孝実,土居 満: フレイルチェストに対する肋骨観血的整復固定術の有用性. 日本救急医学会雑誌 31(11): 1926, 2020.
8. 立川 温子,野崎 義宏,上村 恵理,泉野 浩生,山野 修平,田島 吾郎,猪熊 孝実,平尾 朋仁,山下 和範,早川 航一,田崎 修: 外傷性胸髄損傷後に延髄まで上行する脊髓鉛筆状軟化を来した1例. 日本救急医学会雑誌 31(11): 1442, 2020.
9. 村橋 志門,山野 修平,上村 恵理,泉野 浩生,猪熊 孝実,田島 吾郎,平尾 朋仁,野崎 義宏,山下 和範,早川 航一,田崎 修: 抗菌薬投与中に血液凝固異常を生じた3症例. 日本救急医学会雑誌 31(11): 1395, 2020.
10. 内海 李香,猪熊 孝実,上村 恵理,泉野 浩生,山野 修平,田島 吾郎,平尾 朋仁,野崎 義宏,山下 和範,田崎 修: 入院中に尿道カテーテルの逸脱を認め、膀胱損傷が明らかになった多発外傷の一例. 日本救急医学会雑誌 31(11): 1047, 2020.
11. 猪熊 孝実,立川 温子,村橋 志門,上村 恵理,泉野 浩生,山野 修平,田島 吾郎,平尾 朋仁,野崎 義宏,山下 和範,田崎 修: 救急医療におけるチーム医療 救急医療におけるチーム医療外傷診療には事前のシステム構築が不可欠である. 日本救急医学会雑誌 31(11): 775, 2020.
12. 平尾 朋仁,竹田 昭子,田崎 修: 長崎県における臓器提供施設間の連携・支援体制構築への取り組み. 日本救急医学会雑誌 31(11): 1818, 2020.
13. 平尾 朋仁: Meは何しに臓器提供へ?-救急医としての臓器提供への思い-. 移植 55(supplement): 316, 2020.
14. 平尾 朋仁,竹田 昭子,田崎 修: 長崎県における臓器提供施設間の連携・支援体制構築への取り組み. 移植 55(supplement): 372, 2020.
15. 田島吾郎,上村恵理,徳永彩子,三浦深雪,梅原敬弘,池松和哉,田崎修: 自然免疫システム遺伝子発現のパターン分析による病態判別. 日本救急医学会雑誌 31(11): 1986, 2020.
16. 田島吾郎,上村恵理,徳永彩子,三浦深雪,梅原敬弘,池松和哉,田崎修: マウス熱傷モデルにおける重症度による自然免疫系遺伝子発現パターンの変化. 熱傷 46(4): 133, 2020.
17. 山下和範,宮田佳之,安藝敬生,木谷貴嘉,和氣幸佑,中村千春,佐藤隼人: 災害級の大雨時に災害拠点病院は何をするべきか. Japanese Journal of Disaster Medicine 24(3): 202, 2020.

18. 山下和範、宮田佳之、安藝敬生、木谷貴嘉、猪熊孝実、高山隼人: 大学病院であり、基幹災害拠点病院である当院の災害医療教育体制. *Japanese Journal of Disaster Medicine* 243: 212, 2020.
19. 山下和範、宮田佳之、安藝敬生、木谷貴嘉: ブラインド型で実施した被ばく傷病者受入訓練について. *Japanese Journal of Disaster Medicine* 243: 424, 2020.
20. 猪熊孝実, 上村恵理, 泉野浩生, 山野修平, 山下和範, 小森悠二, 宮田佳之, 柴田久美, 山口真実, 田平直美, 若杉和美, 安藝敬生, 高山隼人, 田崎修: アンケート法を用いたCBRNE災害に対するスタッフの意識調査. *Japanese Journal of Disaster Medicine* 24(3): 246, 2020.
21. 猪熊孝実, 立川温子, 上村恵理, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎修: 著明な後腹膜血腫による腹部コンパートメント症候群に対してABTHERATMを用いたopen abdominal managementをおこなった1例. *日本外傷学会雑誌* 34(5): 231, 2020.
22. 猪熊孝実, 立川温子, 上村恵理, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 米田晃, 井上悠介, 大野慎一郎, 小坂太郎, 足立智彦, 虎島泰洋, 日高匡章, 伊藤信一郎, 金高賢悟, 江口晋, 田崎修: 外科医は多数傷病者に対応できる能力を習得すべきである. *日本外科学会定期学術集会抄録集*: DP-088-1, 2020.
23. 猪熊孝実, 立川温子, 上村恵理, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 岡田怜美, 米田晃, 井上悠介, 小坂太郎, 足立智彦, 虎島泰洋, 日高匡章, 伊藤信一郎, 金高賢悟, 江口晋, 田崎修: 腹腔鏡手術を行った腸重積の原因がシイタケと判明した1例. *日本腹部救急医学会雑誌* 40(2): 325, 2020.
24. 山野修平, 立川温子, 泉野浩生, 早川航一, 田崎修: 重症外傷患者における亜鉛欠乏に関する検討. *日本救急医学会雑誌* 31(11): 2104, 2020.
25. 俵口結衣, 山野修平, 野崎義宏, 松本聡治朗, 早川航一, 田崎修: 温泉溺水により重症呼吸不全と高カルシウム血症を呈した一例. *日本救急医学会雑誌* 31(11): 1071, 2020.
26. 淵野萌子, 山野修平, 泉野浩生, 田崎修: 抑うつ状態と血栓症を認めた葉酸欠乏症の一例. *学会誌JSPEN* 2(suppl.1): 1528, 2020.
27. 山野修平, 泉野浩生, 田崎修: 重症外傷患者における亜鉛欠乏に関する検討. *学会誌JSPEN* 2(suppl.1): 277, 2020.
28. 塩田恭史, 山野修平, 立川温子, 上村恵理, 田島吾郎, 野崎義宏, 平尾朋仁, 山下和範, 池松和哉, 田崎修: 診断確定に難渋したエチレングリコール中毒の一例. *日本臨床救急医学会雑誌* 23(3): 399, 2020.
29. 前山美和, 三浦伊代, 田嶋真理子, 濱口利恵子, 田島純子, 稲岡奈津子, 里加代子, 松永典子, 久松徳子, 相良郁子, 鎌田昭江, 高島英昭, 泉野浩生, 山野修平, 樋口則英, 川崎英二: 精神科病棟におけるNST介入の効果と臨床的意義. *日本病態栄養学会誌* 23(suppl): s-130, 2020.
30. 野崎義宏, 猪熊孝美, 田崎修, 山下和範, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 泉野浩生, 上村理恵, 立川温子, 早川浩一: 保存的加療中の頸髄損傷で頸椎脱臼による麻痺の増悪をきたした1症例. *日本臨床救急医学会雑誌* 23(3): 395, 2020.
31. 早川航一, 和田大樹, 岩村拓, 齋藤福樹, 吉矢和久, 中森靖, 鉦方安行: てんかん重積に対するレベチラセタム単剤療法とレベチラセタム+ペランパネル併用療法の比較. *日本救急医学会雑誌* 31(11): 2006, 2020.

#### B-c-2

1. 山下由恵, 鳥越健太, 高木博人, 辻清和, 山下鮎子, 太田祐樹, 牟田久美子, 北村峰昭, 望月保志, 田崎修, 迎寛, 西野友哉: 二度の横紋筋融解症を発症し長期血液浄化を必要とした1例. *九州人工透析研究会誌* 5: 15-20, 2020.

#### 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	0	6	26

#### 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
田崎修・教授	倫理委員会委員	日本外傷学会
田崎修・教授	代表理事	長崎救急医学会
田崎修・教授	評議員	日本救急医学会九州地方会
田崎修・教授	Associate editor	日本救急医学会 Acute Medicine & Surgery
田崎修・教授	評議員	日本熱傷学会

田崎 修・教授	評議員	日本外傷学会
田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会
田崎 修・教授	国際委員会委員	日本熱傷学会
田崎 修・教授	院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジーの構築に関する学会主導研究推進特別委員会委員	日本救急学会
田崎 修・教授	原子力災害対応特別委員会委員	日本救急医学会
田崎 修・教授	学会主導研究評価特別委員会委員	日本救急医学会
田崎 修・教授	評議員	日本臨床救急医学会
田崎 修・教授	編集委員会 委員	日本外傷学会
田崎 修・教授	資格試験作成委員会 委員	日本外傷学会
田崎 修・教授	保健医療対策協議会救急医療対策部会 委員	長崎県
田崎 修・教授	緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員長	長崎県
田崎 修・教授	ドクターヘリ運航調整委員会 委員	長崎県
田崎 修・教授	メディカルコントロール協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	移植医療推進協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	急性心筋梗塞検討委員会 委員	長崎県医師会
田崎 修・教授	長崎医療圏病院群輪番制審議会委員	長崎市
田崎 修・教授	長崎市地域医療審議会委員	長崎市
早川航一・教授	長崎みなとメディカルセンター 救命救急センター長	長崎市病院機構
早川航一・教授	長崎地域メディカルコントロール協議会委員	長崎県
早川航一・教授	長崎件移植医療推進協議会委員	長崎県
早川航一・教授	ドクターヘリ運航調整委員会 委員	長崎県
早川航一・教授	長崎県保健医療対策協議会救急医療対策部会 委員	長崎県保険医療対策協議会
早川航一・教授	長崎医療圏病院群輪番制審議会 オブザーバー	長崎市
早川航一・教授	長崎市医師会 理事	長崎市医師会
早川航一・教授	救急医療対策委員会 委員	長崎市医師会
早川航一・教授	勤務医委員会 担当理事	長崎市医師会
早川航一・教授	病院部会 担当理事	長崎市医師会
早川航一・教授	長崎市包括ケアまちなかラウンジ 担当理事	長崎市医師会
早川航一・教授	長崎市地域包括ケア推進協議会 委員	医療介護連携部会
早川航一・教授	長崎市国民健康保険運営協議会 委員	長崎市国民健康保険運営協議会
早川航一・教授	長崎医療圏救急医療検討会 委員	長崎市
山下和範・准教授	評議員	日本災害学会

山下和範・准教授	評議員	日本蘇生学会
山下和範・准教授	蘇生医療検討委員会	日本蘇生学会
山下和範・准教授	理事	日本救護救急学会
山下和範・准教授	委員	2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体
山下和範・准教授	委員	長崎県災害医療検討委員会
山下和範・准教授	委員	長崎市メディカルコントロール委員会
平尾朋仁・講師	脳死・臓器組織移植に関する委員会	日本救急医学会
平尾朋仁・講師	学術評議員	日本脳神経外傷学会
平尾朋仁・講師	提供施設委員会	日本臓器移植ネットワーク
猪熊孝実・助教	評議員	日本Acute Care Surgery学会
猪熊孝実・助教	評議員	日本外傷学会
猪熊孝実・助教	九州支部評議員	日本消化器病学会九州支部
猪熊孝実・助教	評議員	日本腹部救急医学会

### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
田崎 修・教授	文科省・学振	分担	基盤研究(B)「重症病態における神経再生阻害因子RGMの機能解明とRGMを標的とした治療法の開発」
田崎 修・教授	文科省・学振	分担	基盤研究(C)「パターン認識に基づく新たな炎症病態解析法の開発」
田崎 修・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費「5類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究—ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて—」
田島吾郎・講師	文科省・学振	代表	基盤研究C「パターン認識に基づく新たな炎症病態解析法の開発」
田島吾郎・講師	文科省・学振	分担	基盤研究B「重症病態における神経再生阻害因子RGMの機能解明とRGMを標的とした治療法の開発」
田崎修・教授	田辺三菱製薬株式会社		The effects of an anti-repulsive guidance molecule-a antibody MT-3921 on neurobehavioral function in the murine controlled cortical impact model

### その他

#### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
平尾朋仁・講師	非常勤講師（検視実務専科）	長崎県警察

## 学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
上村恵理・助教	International Paper Award	79th Annual Meeting of AAST & Clinical Congress of Acute Care Surgery	The Expression of Repulsive Guidance Molecule A (RGMA) After Traumatic Brain Injury: The Time-Course Gene Expression Changes in the Murine-Controlled Cortical Impact Model